

教室日記<こころの天気図> 音田輝元・編



明日は、第5回アクティブシニアフェア

3月2日は<学習発表会>!

いつでも!<子ども教室研究科>の合言葉は

たのしさこそが最高の権威!

■たのしい一年間学び!<子ども教室研究科>の皆さんに感謝です!

<SA子ども教室研究科>発表会

1. 日時 平成24年3月2日(金) 10時~15時 15時~15時40分・懇親会
2. 場所 アネックスビル法円坂 3階・3号室
3. 学科 実践研究部・<SA子ども教室研究科>

午前は、一年間の学習報告を「体験講座(実験・<もの作り>など)」を取り入れながら発表します。午後は、<子ども教室>の「イベントの企画から実施まで」を想定しての実践的発表です。

4. プログラム

10:00 12:00 1:00 3:00

受付	挨拶	Aグループ発表		昼食	Bグループ発表	
		一年間の学習報告	自由におたのしみ下さい		24年度の企画提案	自由におたのしみ下さい
		グループ① 学習報告	グループ② 体験と実験		グループ① 法円坂イベント	グループ② 吹田イベント

●挨拶<子ども教室研究科>委員長・小川忠夫 司会・音田、塚口(アシスタント)

Aグループ発表・・・澤田、橋本、上島、澤居、関、佐藤、山條

①一年間の学習の歩み(10時~10時45分)

②体験講座と科学実験の紹介(10時55分~11時40分)★20分質疑

*参観者におりぞめの解説と体験

*科学実験の進め方<電子レンジで遊ぼう>を例に

Bグループ発表・・・森田、加藤、杉田、山口、松川、小川、熊田、藤森

①7月29日<法円坂・子ども教室>の企画(13時~13時45分)

②8月24日<吹田・子ども科学実験教室>の企画(13時55分~14時40分)★20分質疑

*当日の授業内容から<もの作り>まで。(体験的に授業内容を紹介)

*案内チラシの内容から予算まで。より<実践的>に内容を報告します。

●懇親会・挨拶 副委員長・山條洋浩(ワンコイン懇親会・準備・音田、塚口)

(前日までに準備しておきます。ワンコインを藤森様まで)

■<SA子ども教室研究科>はニュータイプのボランティア活動！

3月2日の発表会で、<子ども教室研究科>の学びの一年間が終わります。発表会といっても、皆さん一人ひとりが主人公の発表会でなければ意味がありません。どうぞ「**自分が笑顔になれるように！**」たのしい発表会にしてください。

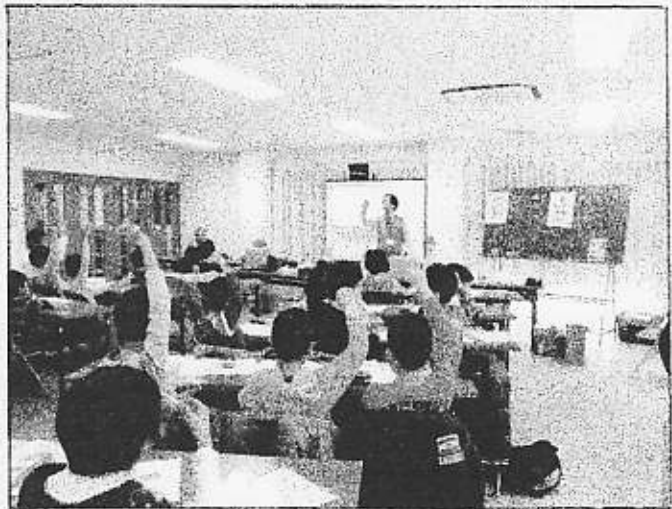
●自分が楽しむということが一番大事だが、二番目に大事なのはその楽しみを人に分けることだ。人に分けるということは、人からも分けてもらう。だから人のネットワークは作ったほうがいい。自分だけの趣味を自分だけでやって満足していたらネクラになってしまう。互いに見せ合い、評価し合う友やグループがいる。共感してくれる人としゃべるのが一番面白い。幸いなことに、定年後は、興味の合わない人、共感のない人との付き合いを捨てる特権がある。共感できるというのは、意見を同じくするという事ではない。個を尊重しながら、無理に意見の一致をする必要もない。クラブ的な軽いノリ、サロンの知的刺激を大事にしよう。テーマさえ共通していればよい。テーマは「世に役立つこと」でも「同じ趣味」でも何でもよい。

多少の希望的観測でもあるが、私はこの団塊の世代が日本に本物の老人文化や介護サービス、ニュータイプのボランティアなど、文化・ビジネス両面で新しいものを作っていくだろうと期待している。むろんもう会社時代のヨコならびの集団合戦は終わった。団塊ならぬ「小塊」で充分。「大志」より「小志」。個を活かしあえるもの同士が、ゆるやかに連帯していこう。人生それぞれ、人さまざま。人と家族の数だけの生き方、生き甲斐がある。「オレはこれにチャレンジする」というものを見つけ、そこで満足を味わったらいい。

定年後、これはわれわれの生き方だというライフ・スタイルを団塊とそれに続く世代は見せてほしい。

(江坂彰)

★<SA子ども教室研究科>アシスタントという、ボランティア活動に関わり始めてからもこの<江坂本>を読みます。では、もう一つ！



●人は、楽しいことを追い求める人を、楽しい人と思う。

あれが嫌い、これがイヤだ・・・という人より、あれが好き、これがしたい・・・という人のほうが、周りの人もなんとなく心うきうき、楽しくなるのだろう。

せっかくの人生を、むずかしい顔して悩んだり、何かを嫌ったり、恐れていてばかりではもったいない。

だから、私は自分の生活を自分の好きなこと、好きなもの、また楽しい思い出で満たそうと努力してきた。いや「努力した」などというと、私を身近に知る人から叱られそうだ。いつのまにかこうなってしまった・・・というところが事実だろう。(齋藤茂田)